

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	JR 飯田線活性化期成同盟会イベント列車事業 (駒ヶ根市)
事業主体 (連絡先)	JR 飯田線活性化期成同盟会 (駒ヶ根市赤須町 20-1 駒ヶ根市総務部企画振興課 電話 025-83-2111)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	501,930 円 (うち支援金: 401,000 円)

事業内容

飯田線の利用機会や、利用促進を図るために、地域住民と協働しながら事業を実施し、飯田線を活かした地域づくりや地域活性化を推進した。

JR 飯田線(鉄道)を利用し駒ヶ根⇄飯田の往復運行を行い、自家用車を利用しなくても、楽しめる駅周辺の魅力を伝え鉄道を利用した地域内での行楽や飯田線への乗車意識の醸成を行った。また列車内で本の読み聞かせなど車内イベントを実施し、子どもたちに鉄道を利用した楽しい思い出を提供することができた。



【動物園に向かう車内で読み聞かせ】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

飯田線を初めて利用する子どもも多く参加し、飯田線利用者の拡大に繋がる開拓ができた。また楽しい思い出を提供できたことで、今後のリピート乗車に繋がる事業となった。

募集開始当日に申込みが定員に達する反響の大きさがあった。飯田線利用促進事業に対して、多くの地域住民に事業の周知が図れたことは大きな成果だった。

他地域からの集客を図り、交流人口の拡大に寄与した

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も、視点を変えながら、継続的にイベント列車を運行することにより、多くの人への飯田線のPR及び利用促進を促し飯田線の新たな利用者の開拓や利用啓発を図っていききたい。またイベントなどに関連して事業を行うことでイベント集客と飯田線利用促進の相乗効果を図っていききたい。

【目標・ねらい】

- ①飯田線利用人数の増加
- ②飯田線利用への啓発
- ③地域活性化

※自己評価 【B】

【理由】

子どもが初めて飯田線に乗るといった参加者が多く、今後の飯田線利用のリピート乗車に繋がる提案ができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある